

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

845

観光支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光支援事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

## 1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要			
事業目的	観光振興に寄与する団体に支援を行い、市外（県外）からの観光客誘致を図る。	市内各地域の観光協会や、観光振興に寄与する団体に支援を行う。			
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	○紀三井寺さくら祭りに補助 ○和歌の浦万葉新能へ補助 ○磯の浦海水浴場振興補助金 ○加太観光協会へ集客対策事業の補助 ○観光地保全管理事業補助金（磯の浦、加太） ○片男波海水浴場管理運営交付金	○紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	○紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	○紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	○紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	16,621	16,028	16,621	16,074	16,621	16,033	15,982	0	15,982	0
伸び率（%）	0%	△10.4%	0%	0.3%	0%	△0.3%	△3.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,211	5,892	5,741	6,051	5,535	5,385	5,535	0	5,535
	正規職員以外	517	517	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	0	1,489
	小計	6,728	6,409	7,230	7,540	7,024	6,874	7,024	0	7,024
国庫支出金	833	811	833	833	833	834	514	0	514	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	8,736	2,636	8,736	8,736	7,336	5,071	8,136	0	8,136	
一般財源（税等）	7,052	12,581	7,052	6,505	8,452	10,128	7,332	0	7,332	
所要人数（人）	正規職員	0.78	0.74	0.74	0.78	0.74	0.72	0.74	0.00	0.74
	正規職員以外	0.28	0.28	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00	0.29
主な予算内訳	片男波海水浴場管理運営交付金 11,400千円、観光地保全管理事業補助金 2,888千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	交付件数	件	7	7	7	7	7
			6	6	6		
			85.7%	85.7%	85.7%	%	
成果指標	観客動員数	人	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
			0	450	1,180		
			0%	2.5%	6.6%	%	
成果指標	市営片男波海水浴場利用者数	人	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			136,860	167,921	180,000		
			54.7%	67.2%	72%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民グループや観光関連団体等との協働により、市民が主体となった安全で、快適な観光地づくりや魅力的なイベントの定着を目指すことで、引き続き、観光地としての知名度向上や観光客数の増加につなげる。
見直し・改善内容	各団体における支援のあり方について今後検討していく。